

その他の土木工事業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18～19	土場でダンプ荷台に乗ろうとした時、ダンプ荷台に付いているハシゴから足が滑り、背後から地面に落ちた。	73	—
1	12～13	国道で除雪の作業調査をする時に、梯子に上がった環境で、フェンス上部の雪庇が落下し、それに巻き込まれる形で梯子から滑落し負傷した。	57	10～29
1	11～12	伐採作業の際、伐倒する木にワイヤーを括りつける作業中、はしごを固定しないため、はしごから落ちた。	53	1～9
1	8～9	脚立の4段目約1.2mに登り剪定作業をしていたところ、強風により脚立がずれた。その際、飛び降りたが左足から着地したため、全体重が左足にかかり、かかと部分を骨折した。	57	10～29
1	15～16	3tダンプトラックにて材料をとりに行った。合材を積載したのちに保温用シートをかけていたところ風でシートが動いたので慌てて、左足でシートを押さえようとしたところ、誤って高さ1.27mから左側を下にして転落し、負傷した。	76	1～9
1	9～10	防雪柵下の雪崩の危険がある箇所の雪庇処理作業中、防雪柵の鋼材に親綱を取り付け、それに安全帯を掛けて作業を行っていたが、被災者は誤ってスノーダンプを落としてしまい、それを取りに行くため、安全帯を親綱から外して降りて行き、拾った場所でスノーダンプを振りまわした際に、足元の雪が崩れ、バランスを崩し約10m下の重機雪足場へ滑り落ち、背中を強打した。	41	50～99
		作業法面中腹（崩壊法面）にあっては、道路からの高さ120m、法肩40m下りた箇所で、メインロープ、ライフラインの2本を使用して、作業に使用する金網を水平		

1	11~ 12	方向に運搬中に、メインロープ、ライフラインの2本の親綱の上方が、法面中腹の凸部に引っかかり、被災者本人が、それに気づかぬまま横移動を続けた結果、何らかの原因で引っかかりが外れ、地山に衝突し、肋骨、腰椎を骨折したと思われる。	47	—
1	14~ 15	工場敷地内において、倉庫、石、植木等の造園資材を撤去及び移植、移動中に10尺の脚立から踏み外して、下に石、ガラ等があり、左かかとを骨折した。	42	—
1	11~ 12	新築工事現場で造作作業中、はしごで2階より1階へ下りようとして、高さ約2m上よりバランスをくずして地上へ落下した際、全身を打撲負傷した。	72	10 ~ 29
1	10~ 11	資材置場にて、重機で整地作業後の箇所を歩いていたところ、地盤がゆるく下に空洞があり石と共に60cmほど滑落し、左足に石が落下し負傷した。	35	10 ~ 29
1	11~ 12	会社の資材置場にて、4tダンプ上で石の積込をしていたところ、つまずいて石と共に4tダンプから落ち、石がふとももと腰あたりを直撃した。	61	10 ~ 29
2	10~11	道路維持業務のため、法面で、伐採した根などの片付けをしていたところ、斜面で足を滑らせ木の切り株に左胸をぶつけ骨折した。	63	—
2	9~10	重機置場の仮囲い設置作業中ハシゴを使用し作業している際、ハシゴから足を踏み外し地面に落下して尾?骨を強打した。	62	—
2	15~16	自宅前の倉庫の前でトラック(2t)からホースを下ろす時足を滑らして落ちた。前日にオイルをこぼして良く拭いておいたが少し残っていた。落下した時負傷した。	79	—
2	16~17	建設事務所発注の道路災害防除工事ロープ伏工事で、作業終了後、山から降りる為にモノレールの牽引車と荷物台車の連結部に乗車し移動中に、安全部のフックが垂れ下がっていたため、軌道と支柱の間にフックが挟まり、そのはずみでモノレールから転落し斜面を20m程滑落し、斜面途中のモノレール支柱に上着のフードが引っ掛かり停止した。その際、首を圧迫し、気を失った。	61	1~ 9

2	11~12	物置外壁の合板を胴縁にビス固定中、足場になっていた擁壁から落下した。擁壁天端の角に、肋骨をぶつけた。（原因）何らかの落下防止策をしていなかった。	58	1~9
2	18~19	仕事道具を倉庫に片付けに行った際、草刈機を2台持ったままで2階にある駐車場から1階の倉庫まで階段を下りようとしたところ、その草刈機がフェンスにひっかってバランスを崩し、階段上の踊場（高さ1.5m）から転落して、右腰を負傷した。	69	1~9
2	10~11	自社管理施設森林内にて雷害によるかかり枝除去作業中に、脚立により枝切断直後バランスを崩し脚立より転落した。その際、腰を強打し骨折した。（脚立：3.6m、12段・作業時踏み棧9~10段目、約3m位置）（かかり枝部分：地上高約4m）	41	10~29
2	14~15	当社資材置場において、倉庫の屋根の波板を張るため脚立（高さ約180cm）の3段目（高さ約70cm）に上り材料を渡そうとした際、バランスを崩し脚立と共に倒れ、左足首を捻り負傷した。	68	—
2	13~14	自社の土場（作業場）でアスファルトフィニッシャーのメンテナンス中に上部に備え付けてあるガスボンベを開栓し降りようとした際に、途中で足を滑らせて1m程落下した。着地の際にバランスを崩していた為、右足を捻り地面で転倒した。	38	10~29
2	14~15	現場作業が終了し、現場作業員は後片付けをしている状況を見守る中、三面水路側にバランスを崩し、転落した際に、水路側のコンクリート杭に股間を強打し、負傷する。	45	—
2	8~9	現場で組立作業中、工事で使用する道具を軽トラックに登って取り出し降りようとした際、軽トラックのふちに足を掛けて、足を滑らせてしまい、下に落ちた。左手を地面につき骨折した。	64	1~9
2	10~11	事務所増築工事外壁サイディング張り施行時1段目足場上から足を踏み外して転落した。原因：落下防止手すりが1段しか設置されていなく、中間から転落したと思われる。	63	10~29
		改修工事現場で、床版下（中段足場上）において既設床版切断作業に先行して、カッター切断時の火の粉がブルーシートに引火しない様に薄ベニアで養生作業をし		1~

2	14~15	ていた時、防災シート（下面）で覆われていた足場板が一部干渉した為動かそうとし手を伸ばした先に足場板がなく、中段足場上でバランスを崩し、1.2m下の橋座部へ墜落した。（養生シートにより作業床の開口部が見えない状況であった。）	50	9
3	14~15	リース業者ハウス置場にて、10tユニックで10tトレーラーにハウスを積み込む作業をしていた。被災者は隣接のハウスの天井で積み込みをするハウスの玉掛作業を終えたので、トレーラー荷台のクレーン操作者がハウスを吊り上げ旋回しようとした。被災者は向きを変えようとハウスの角（端）から少し手前を手で押さえたがハウスが回転せず、そのままハウスに押され転落した。	40	50 ~ 99
3	10~11	木に登って作業中、誤って木から転落し、肩が枝に当たって地面に落ちた際、腰を打ちつけた。	66	1~ 9
3	11~12	小学校にて剪定時、はしごをかけて上っている途中、足を滑らせ転落してしまった。	60	10 ~ 29
3	13~14	重機置場で3tダンプより重機によって積み荷を降ろす際に、右旋回中に被災者を押し、被災者は転落し、臀部より落ちて全身を強く打った。	62	1~ 9
3	16~17	2階スラブ部の撤去作業中のバックホウ0.2?（ブレーカー付）運転者への合図員として、2階にいた作業員が重機作業終了後、コンクリート殻を人力で撤去するため移動したところ、足を滑らせ開口部に転落した。	58	10 ~ 29
4	14~15	個人宅で剪定作業をしているとき、脚立の3m付近からバランスを崩し落下し、背骨を3ヶ所骨折し、頭部に切り傷を負った。	46	1~ 9
4	9~10	法面排水工の基礎施工中、小段で敷モルタルを一輪車にて降ろそうとしたときにバランスを崩し、尻もちをついた状態で法面を滑り落ちて腰を打った。	65	1~ 9
4	14~15	自社砂利置場にて、敷鉄板（幅1.5m、長さ6m）をクレーン機能付きバックホウで10tトラックへの積込補助業務に従事中、吊り上げた敷鉄板が風に煽られ、トラックの荷台で誘導をしていた被災労働者がバランスを崩して転落（地上高1m）し、頭部等を強打した（ヘルメット着用）。	71	30 ~ 49
	14~	社有地でクローラクレーンの整備点検中に、足場にしていた1.6Mの脚立の上から		10

4	15	落下し、頭部と胸を打った。	62	～ 29
4	14～ 15	PC350バックホーの給油依頼を受け現場給油終了後、バックホーからおりる際にステップを踏み外し、地面へ腰から落ち腰椎圧迫骨折をした。	56	30 ～ 49
4	11～ 12	被害者は、当社敷地内にある、資材小屋の屋根トタン修理のため、他作業員1人と共に足場を組み、はがれているトタンの点検をしていた。始めに1スパンずつの600mm枠組足場2段を左右に組み、4m鋼製足場板を1枚渡して、高さ3.5mになった足場を組み終え、2人で足場板の上に登り点検を終えた時に、足場板が2人の重みで弾み、しなり、揺らいだため、共にいた1人がバランスをくずして、被害者の身体にぶつかり、衝撃で2人共、砂利の地面に転落し、左肘で自身の身体を受けるような恰好でけがをした。足場板を結束せず、固定していなかったのが原因である。	35	10 ～ 29
4	11～ 12	被害者は、当社敷地内にある、資材小屋の屋根トタン修理のため、他作業員1人と共に足場を組み、はがれているトタンの点検をしていた。始めに1スパンずつの600mm枠組足場2段を左右に組み、4m鋼製足場板を1枚渡して、高さ3.5mになった足場を組み終え、2人で足場板の上に登り点検を終えた時に、足場板が2人の重みで弾み、しなり、揺らいだため、被害者はバランスをくずし、他の作業員の身体にぶつかり、衝撃により2人共、砂利の地面に転落した。落ちた場所に大きな石があり、左足が乗っかり、左肘で自分の身体を受ける様な恰好で怪我をした。足場板を結束せず、固定していなかったのが原因である。	36	10 ～ 29
4	17～ 18	会社社長に用事があり事務所に寄った際、事務所が二階だったので、帰りに階段から足を滑らせ階段中央付近から下のコンクリートの所まで落ちてしまった。しばらく仕事を続けたが腰痛があり、骨折であると分かった。	69	10 ～ 29
4	9～ 10	水路工事中に、石段を登った地点で護岸に敷いてあった養生マットを踏みはずし、1.5m高さから石段に右足から着地して足首とかかとを負傷した。	55	1～ 9
		現場敷地内、K-1調整池にて重機（BF0.7?）移動時、重機足元が滑ったものと推測される。その際、一段下がっている水深1m程度の池へ運転席（キャビン）側より		30

4	8~9	転倒し運転席全体が水没した。乗降口は左側で、転倒時池底で塞がったため脱出が出来なかったと思われる。	40	~ 49
4	11~ 12	大径木（C≒1.8m）でのかかり枝にワイヤーをくくりつける作業を終え、1本梯子を使用し降下中、バランスを崩した反動で梯子が外れ3.5m付近から落下し、更に約4mの法下に転落した。その際、梯子は人力で支えていたが支えきれなかった。また、大径木で安全帯が使用できなかったため、枝にかけたロープを支えに下っていたが支えきれず、ずるずると降下し最終的にはきから離れて法下に転落した。	78	~ 99
4	14~ 15	急傾斜地工事で人家入口に養生鉄板（3.0m×1.5m×20mm）を設置する作業で、小型移動式クレーンに積んでいた鉄板をつり上げるため、縦方向に積んでいた鉄板の3m側に玉掛けを行いつり上げを行った。作業場所は勾配のある坂路で荷台は後方であり鉄板に玉掛けをし地切りをしたが、勾配のため鉄板が左に廻るように動いたため、荷台から降りずに荷台右端にいた被災者が右端から左端に廻って鉄板をよけようとし、つり鉄板の左角をかわして前に出たときに荷台左端の横側から1.5m落ちた。	37	1~ 9
4	13~ 14	自社ヤードにて玉掛け作業終了後、トラックの荷台から降りる時にステップがあると勘違いして踏み外し、左足かかと骨が割れる等の負傷をした。	49	50 ~ 99
5	8~9	資材置場において、工事資材の積み込み作業完了後、ふらついてトラックの荷台から落下した。	65	10 ~ 29
5	15~ 16	住宅の敷地内で庭木の伐採中、木を切る位置を変えるためハシゴを移動し、ハシゴに登って上端を木にロープで固定しようと腕を伸ばした時にバランスを崩し、安全帯を使用していなかったため、転落し負傷した。	64	10 ~ 29
5	10~ 11	石積にて法面補強工事を完了して、石と石との隙間をコンクリートで詰める作業中（最上部より下に向けて作業を進行2日目の作業に入る）、午前の休憩後に上から1段目の作業床に戻る時に足を滑らせてバランスを崩し、上段の作業床にぶつかりながら赤い表示の様に落下したようである。目撃者はなく、当人も覚えておら	25	1~ 9

		ず、推定である。		
5	17～ 18	現場で堤防の確認中に、ブロックの上から転落した。	57	10 ～ 29
5	10～ 11	落石防止網工の施工中に作業員が法面（高さ2.0m）から転落した。金網架設時、高さ5m付近の障害物に金網が掛かってしまい、それを作業員が手で外したあと降下中に高さ2m付近で転落した。法面降下中に金網用フックが付いていると思い親綱を外したところ、フックが外れており転落した。	53	1～ 9
5	7～8	トラック荷台にて合材シートが落ちそうになっているのを直そうと荷台へ上ろうとした時に、雨だったこともあり、誤って足を滑らせて転倒した。しばらく様子を見ていたが痛みが引かず、肋骨骨折であると分かった。	47	1～ 9
5	10～ 11	個人宅にて脚立に乗って剪定作業中、脚立の2段目から誤って足を滑らせて横向きに転落し、左肩の方が後ろにずれてへこみ、左手首を骨折した。	62	1～ 9
6	7～8	自社給油スタンドでの給油後、給油カードを事務所に返却するために助手がモーターグレーダーより降りて事務所に返却しに行っている間に、被災者が所用の為にキャビンより降りた際に足を滑らせて転落し、失神しているのを助手が発見したものである。	33	30 ～ 49
6	15～ 16	現場にて4tトラックに塩ビ管を積み、荷台から降りる時、あおりを留める金具にズボンが引っかかり、落ちた時に左手手首を負傷した。	45	1～ 9
6	10～ 11	4tダンプトラックの上で荷役作業中、長い丸太に足を引っ掛け転落し、右手首を負傷した。	39	1～ 9
6	11～ 12	樹木の剪定中、脚立の2段目辺りからバランスを崩して落下した。下にあった石に顔面から落ちた為、鼻を切傷及び骨折した。	62	1～ 9
6	11～ 12	被災者は、道路脇歩道にて植樹柵の街路樹の剪定作業の途中であった。被災者が木に登り作業をしていた際に、安全帯を掛け替えようとしたところ、バランスを崩してしまい落下し受傷した。	70	10 ～ 29
	11～	草刈工事で草刈清掃中に、足を滑らせて下に転落した。その際に、右足首内側の		10

6	12	くるぶし下を骨折したものである。	47	～ 29
6	11～ 12	公園内の石垣にて、石垣に生えている草の除去作業中、擬木柵にメインロープを緊結し作業を行っていた。その際、擬木柵にメインロープのフックをしっかりと掛けていなかったため、メインロープが外れ、4～5mの高さから転落した。	38	1～ 9
7	10～11	資材積込後、荷を固定する作業中、4t車アオリに左足を掛けて、ベルトの固定を確認しようとしてバランスを崩して地面に滑落し左手首骨折、及び前歯を損傷した。	49	～ 29
7	10～11	お寺にて、松や樹木の剪定作業をしている時に、12尺脚立の昇降時に、足を脚立から踏み外し、作業下の側溝部へ落下し、頭部の打撲裂傷になった。	78	1～ 9
7	9～10	自社の資材倉庫で2階に脚立をかけ、看板をおろそうとして脚立に登っている時、バランスをくずして脚立が倒れ、2階の床にぶら下がり両手の薬指を骨折した。	57	～ 29
7	9～10	会社借用の資材置場に、アスファルトを砕いた片を捨てに車両にて行き、その後、アスファルト片の状況を確認していたところ、草が水路に被さっていたのを知らず誤って転落したもの。	38	～ 29
7	15～16	伐採現場で剪定及び枯損木伐採により発生した枝葉を2tダンプの荷台の上下で受け渡し中に雨で濡れていた枝に足を滑らせ落下した。その際右手を着き右手首を打撲した。	46	1～ 9
7	11～12	事業主自宅の木を脚立に乗って剪定作業をしている時に誤ってバランスを崩して脚立から転落（高さ1.8m）し、腰部を強打し負傷した。	44	1～ 9
7	14～15	境内樹木管理業務に於いて、低木の刈込作業及び除草作業を行っていたところ、作業用の踏み台としていたコンパネが作業によりずれ動き傾いたため約2.4mの高さから転落。腰部を強打したため腰椎を骨折し脊臀部に打撲傷を負ったもの。	47	～ 29
7	10～11	仕事の手伝いをするために敷地内で荷物を確認する作業をしようとしてダンプから下車した時に荷台ステップに足を踏みはずし、背中から落下した。ダンプは10トン車で2mの高さから落下した。	60	～ 29



7	14~15	敷地内で、剪定作業をしているとき、剪定枝が落下してきたため、それを避けようとしてバランスを崩し、高さ約1.5メートルの脚立より転落した。	35	1~ 9
7	9~10	庭で剪定作業中、高さ5m位ある木（デツリンジン）の3m辺りのところに登っていた。直径10cm程の枝に乗ったところ、その枝が折れ、3m下へ落下した。（枝は葉が茂っていたため、外見からは気付かなかったが、半分程枯れていた。）下へ落ちた際、庭石で胸部を打ち肋骨を折り、肺挫傷を負った。	38	1~ 9
7	9~10	処分場法面工事場において、吹付前準備作業（スパーサ・水板パイプ・目地材設置）の際、親綱にロリップを取り付け、法面（法長5m）に下りようとした。法肩から1m位下がった時に親綱が外れ、墜落した。腰椎圧迫骨折・骨盤にひびが入った。	34	10 ~ 29
7	16~ 17	会社の置場のマツの剪定をしていたときに12尺の三脚の上から2段目とマツの枝に足をかけていたところ、バランスをくずしアスファルトの地面へ両足から落下しその反動で左に倒れた。	42	1~ 9
7	15~ 16	先達発電所施設上流にある取水工排砂門に流木が掛かっているため除去する工事で、準備作業のため排砂門上屋（幅3.0m長7.0m高さ4.80m）でバックホーの作業状況を監視しているとき、被災者が流木の絡み状態が気に入り単独で上屋ステップ鉄筋φ19mm幅0.3mの14段を安全帯2丁掛けを使用しながら降りたところ、堰堤天端部60cm位のところで流木の枝があり、これに右足、左足で上がり体勢を替えるため左足を上げたところで右足が流木の上で滑り腰から落ちて受傷した。2丁掛安全帯の片方はステップ（下から3段目）にフックに掛けていた状態であった。	41	10 ~ 29
7	16~ 17	庭の樹木剪定作業中、隣との境界の竹を切るためフェンス（高さ1.2m）を乗り越えた時、ズボンの裾がフェンスの針金に引っかかり体のバランスをくずして落下した際、右足ふくらはぎから出血しており、すぐに救急車で病院に搬送され診察の上、入院となる。	20	1~ 9
7	16~ 17	モチの木の剪定中、脚立で作業後、安全ベルトを外し、枝に移動したところ枝が折れ庭石の上に落下し、右足首を骨折した。（約4m）	44	1~ 9
	14~	倉庫内にある三段棚の一段目に足を掛けて資材整理（籠筋を棚の二段目に片付ける作業）をしている最中、バランスを崩して落下した。バランスを崩した際に棚の		30

7	15	二段目に載せてあった鋼材を掴んだが、鋼材と共に床に落下し、床に置いてあった塩ビ管と鋼材とに右足を挟まれ骨折した。	60	～ 49
7	10～ 11	納入予定の建設機械の運搬作業中に、建設機械を中型トラックに積み込む際に横滑りし、重機が転倒しそうになり、被災者が転落し、地面に転倒して足を負傷した。	46	1～ 9
7	16～ 17	資材置場にて、庫内資材整理のため、仮設足場材をトラック搭載型クレーンを使用し、荷降ろし作業中に、積み荷の仮設足場材（単管パイプの束）の上に乗って玉掛作業をしようとしたところ、バランスを崩して足を滑らせ、そのまま背面より荷台の上から転落し、打撲および骨折をした。	18	30 ～ 49
7	9～ 10	資材置き場（兼工場）において、3m程の高さにある排水パイプ（塩ビ管）をノコギリを使って切断しようとしていた。その際、梯子に登って作業をしていたが、切る作業の振動などにより、梯子がずれて倒れ、本人も約1.5mの高さから落下した。	67	1～ 9
7	9～ 10	土手の竹を伐採作業中に、切った竹が倒れかかって来たので、右手で竹を持ち、左手でチェーンソーを持っていたときに体のバランスを崩し、左手に持っていたチェーンソーが左足に当たって負傷した。	68	1～ 9
7	10～ 11	盛土部ブロック積み天端において、草刈り作業中にカズラに引っ掛かったか、または片付けようとして、4.8m下の地面へブロック面に手をつきながら横向きに滑落し、骨折した。	63	10 ～ 29
7	9～ 10	空港滑走路増設現場の消波工において、クローラクレーン（150t吊）を使用し、消波ブロック16t型（層積み）の据付作業を行っていた。被災者は吊り降ろした消波ブロックに移り、2本掛けの玉掛けワイヤーのうち1本目のワイヤーを外し、次のワイヤーを外そうとしたとき、消波ブロックが傾き、その影響で2本目のワイヤーがテトラポットから外れて、被災者に接触したためバランスを崩し、下段の消波ブロック上に転落した。	49	1～ 9
9	13～ 14	現場は山肌であり、排水路管を移設する作業であった。作業員2名で管の撤去を行う前で前後に並んで会話をしながら、山肌を歩いていると被災者の会話が急にとぎれ、一緒にいた作業員が付近を探したところ、山肌に直径60～80cm位であろうと	25	1～ 9

		思われる穴を発見し、その穴をのぞいたところ被災者が落ちていて、おおむけの状態であるのを発見した。落下深さはおおむね5～8mぐらいあると思われる。		
9	9～ 10	保育園の上にある道路脇の林の工事現場で、バックホウ（重機）に乗り排水溝を造る工事の作業中、約5m下の保育園建物と崖の間の保育園敷地内に転落し、バックホウの下敷きになり搬送先の病院で死亡が確認された。	58	1～ 9
9	13～ 14	型枠を使用する材料を取りに4tユニックで資材置場に行き材料を積み終り、資材置場から100m走りだした時バンドが緩みそうになり、直そうとしてトラックに上がり足がすべり、トラックの荷台から2m下に落ちた。	44	～ 29
9	15～ 16	倉庫の2Fにある土のうを整理しようとして、梯子を上がり、2Fに向かう途中で梯子から転落し、左手を骨折、脱臼した。	23	1～ 9
9	16～ 17	樹木の剪定作業中、カシの生け垣（枝が細く安全帯がつけられない）に登って剪定中、足を滑らし約4m下の地面に落下し、足等を打ち負傷した。	63	1～ 9
10	12～ 13	事務所内の警報器のスイッチを止めようとし、イスに乗った時、バランスを崩して転倒した。その際、右手をついて負傷した。	49	30 ～ 49
10	10～ 11	公園で樹木剪定中、使用していた脚立から降りているときに、脚立の足を留めていたピンが外れて倒れてしまい、転倒した。	59	1～ 9
10	15～ 16	高さ約3mの脚立に乗って、植木の剪定作業をおこなっていたところ、ステップより足を踏み外し落下負傷してしまった。	33	1～ 9
10	1～2	目的地の現場の切削完了後、回送車に切削機を積み込む直前、運転席から足を滑らせ転倒し、怪我をした。	48	10 ～ 29
10	9～ 10	高等学校剪定工事の桜の剪定作業を行っていた際、脚立を木にかけ、登り、木の一番下の枝に手をかけたら、枝が枯れていた為根元から折れ、校門の門に転落し、背中から強打したもの。一部木に足をかけた1.5m程度の高さでの作業。	69	1～ 9
10	6～7	解体工業資材等置場において、資材等の整理整頓をしようと2階に梯子をかけ登っていたところ、バランスを崩し墜落し後頭部、首、腰を強打負傷したもの。（本	46	1～ 9

		人記憶がなく、他の者が梯子の下に倒れているのを見つけ救急車を呼ぶ)		
10	11～ 12	工事現場において、タンクをつる作業をしようと高さ1.6mCタンクから隣のタンクに移動したところ、足を滑らせて落下し、右腕と右腰を負傷したものである。	46	1～ 9
10	12～ 13	ビル1階の天井のボードをバールで外す時に、脚立に乗っていたが、バランスをくずし落下して左肩を骨折した。	44	1～ 9
10	15～ 16	新築工事現場に於いて、ラフタークレーン（12t）で資材の吊り上げ作業（オペ付賃貸）を行っていたが、トイレに行くためクレーンから降りる際、昇降ステップの近くに資材が置いてあったため、前方から降りようとフェンダー部分（高さ1.47m）に乗った際に足を滑らせて転落し、張り出してあったアウトリガー（長さ1.53m）に右腰を打ち付け負傷した。	60	10 ～ 29
10	6～7	当日、車両の整備のため点検作業（トラックの当社保管駐車場所において）を行っていた。荷台の点検をするため運転席後部に据え付けてあるハシゴを登ったところ、過って足を踏み外し高さ1.2メートルから落下し、腰部を打撲したものの。	65	1～ 9
10	13～ 14	環状線の播脚に播脚補修のため設置されていた吊り足場の解体作業を行っていた。被災者（1名）は、解体中の足場上で足場床板を取り外し、搬出のための集積作業を行っていた。落下防止安全ネットを撤去し足場床板を結束している線の撤去作業をした。被災者は安全帯を着用していたが親綱を先に撤去していたため、フックを掛けておらず作業中にバランスを崩して高さ5.82mのところから転落し溺水。病院に搬送されたが、死亡した。	18	10 ～ 29
10	13～ 14	顧客様の松の剪定作業を行っていた時、脚立の地上部より2m付近からバランスを崩し転落し、脚立に鼻下を強く打ち裂創及び口唇内側を挫創した。転落した場所にあった石に背中を強打し、強い痛みと腕の痺れがでた。	67	100 ～ 299
10	13～ 14	当社発注の休耕田の草刈り作業中、田周辺での作業中、足を滑らせ約1.5米下の民家敷地内に落ちた際、腰部に痛みが出たもの。	36	1～ 9
10	8～9	資材置き場内において、資材、鉄骨など移動作業中において、落差2m下に足を滑らせて、コンクリートに落下したものである。	70	1～ 9
	14～	事業場でハシゴに乗り台風準備のためにロープで固定していた箇所を撤去していて		1～

10	15	足を滑らせ高さ1.40mぐらいの所から落ちて右足を強打した。原因としてはハシゴが少し濡れていたため、足が滑ったと思われる。	43	9
10	14～ 15	事務所裏の除草作業中に足を踏み外し落下。ロープを設置していたがロープの届かない場所を作業していた。	42	10～ 29
11	14～ 15	置場内にてコンテナ内のフレコン整理中、作業が一段落したため、コンテナ何から下りる際、2m程の高さから足を踏み外し落下した。その際、コンテナに立て掛けてあった足場材にぶつかり陰部を強打した。	19	10～ 29
11	10～ 11	樹木の剪定作業中、ケヤキの枝が電結線にかかっていた為、梯子に登り、下段3段目で足を踏み外し、着地の際に足首を捻った。	51	1～ 9
11	12～ 13	こんにやく工場内でこんにやく製造機のギアを別の商品のギアに交換するため、お湯のタンクの縁に乗って作業をしていたところ、長靴が滑って左足がお湯の中に落ちて火傷を負った。（お湯は75℃～85℃位）	43	30～ 49
11	12～ 13	ガス管理設工事において、150A鋼管（9m×5本＝45m、900kg）を掘削溝内に吊り下ろす位置まで台車で運んだ。掘削溝から離れていた為、位置を調整していたところ、端部から掘削溝に滑り落ち始め、被災者がパイプと共に転落して挟まれ被災した。運搬台車はキャスター付きで、4輪とも回転するタイプであった。	55	30～ 49
11	11～ 12	構内にて、商品上部のビニールが剥がれていたのを直そうと、フォークの爪に乗り作業し、下に降りようとした際、足がチルトレバーに触れ、マストが傾いてしまい、体が本体とマストに挟まれ、腰を打ってしまった。	19	10～ 29
11	11～ 12	脚立に乗り作業中バランスを失い誤って転落し、落ちた場所にブロックがあり腰を強打してしまい負傷した。	24	1～ 9
11	17～ 18	事業所敷地内で点検・整備を終え帰ろうとしたところ、業務で使用していた8tトラックの運転席に私物の携帯電話を忘れたことに気付き、トラックの運転席から携帯電話を取り、降りようとしたところ足元が滑りバランスを崩して地面に落ちた。	37	10～ 29
11	11～	当事業場倉庫において冬囲・倉庫片付作業中、昼休憩につき資機材をトラックに片付け、トラックの荷台幌を降ろそうと引っ張った際、アオリがしっかり固定されて	63	1～

	12	いなかった為、バランスを崩し、被災者は荷台から地面に右足から着地し、足を強く捻り負傷した。		9
11	11~ 12	個人邸にて庭木の剪定作業をしている時に、脚立の高さ1.8mの所よりバランスを崩してコンクリートの地面に落下した。その際、右膝の皿を骨折し、その衝撃で、次にアゴを引いたように頭のとっぺんをコンクリートに強打した。その状態は、首の頸椎に2ヶ所、ヒビが入った状況である。頭も三針程度の損傷あり。	31	1~ 9
11	15~ 16	剪定作業中2mの脚立を使用し、約1.8mの高さで作業をしていたところ脚立が斜めになり、バランスが崩れそのまま脚立と一緒に倒れ近くにあった石に右手を強打して、手首、薬指、親指を骨折した。	55	1~ 9
11	9~ 10	個人宅造園工事において、造園工事の妨げになる庭先の支障枝を落とそうと脚立に上って作業をしていたら、バランスを崩し地面に落下し腰を打ち付け負傷した。	44	1~ 9
11	9~ 10	店舗増築工事において敷地外周のフェンス設置で、既設コンクリートブロックの天端に、フェンス基礎の穴をコアカッターにて削孔している時、コアカッター本体を両手で押さえていたが反力で回転し、作業車が回転方向に振られて、1.5m下方の側溝に墜落し骨折した。	49	1~ 9
11	16~ 17	斜面での清掃作業中、移動の際に足を滑らせて前のめりに転倒、下方に滑り落ちて斜面下にあった構造物に額をぶつけ、裂傷を負った。	72	1~ 9
11	11~ 12	工事現場にて、法面部分を高さ約1.5mの擁壁に立って草刈機にて草刈作業中、草刈機の歯がソテツに当たりその弾みでバランスを崩し、擁壁から落ちそうになった為自ら道路へ飛び降りた。その際、右足を負傷した。	62	1~ 9
12	9~10	当社事業所において、作業員2名で仕事納めの事務所内大掃除で発生したゴミを捨てる為、1.5tトラックにゴミを積載し搬出し、じん芥焼却場積み降ろし場で被災者はトラック荷台に上がり飛散防止シートを撤去したあとトラック荷台から降りるため、助手席側のステップに足を掛けたところ滑って不安定な姿勢のまま左足を地面に着いたことにより負傷した。当初は足をくじいたと思われたが、病院を受診したところ、左足首を骨折したことが判明した。	60	10 ~ 29
		現場内にてバックホー0.4?に乗車しようとした際に、ゴムキャタ部で足を滑らせ転		30

12	8~9	倒し、左大腿部をゴムキャタに強打して骨折した。	70	~ 49
12	16~17	会社の置き場にて、トラックへの積み込み作業中、地上2.4m程の高さのトラックの荷台のふちで作業をしていたとき、足を滑らせて転落し、脇腹を打った。	21	1~ 9
12	15~16	高さ4mの単管足場上で足場解体作業中、先に解体してあった縦単管を誤って掴んでしまい、墜落した。	50	30 ~ 49
12	9~10	除雪車発着場にて国道及び県道の道路除雪を完了させ戻って来た後、ロータリー除雪車の上の雪をスコップで降ろす作業をしていた。その時足をすべらせて除雪車の上から転落した。落下高さは2.5m程で、落下箇所はコンクリート舗装面に20cm程の新雪が積もっていた。	64	10 ~ 29
12	7~8	当社資材置場において、倉庫の電球交換作業（高さ7500mm）を事業主と行っていた際（フォークリフトの爪にコンパネをのせ、梯子をかけて交換）、被災者がリフトの屋根にのり電球を事業主に渡し終えたところ、事業主が梯子から落ち、それと同時に不明だが、被災者もリフトから地面に落ち、全身を地面に強打し負傷し、翌日に死亡した。（リフトの屋根から地面までの高さ、約2000mm）	76	1~ 9
12	15~16	倉庫新築工事のうち、外構工事の現場にて、1.5mある穴の底面の大きさを測定しようと思い、地上から降りるときに足を滑らせ落下し、その際にU字溝のヘリに右脇腹を打ち、骨折した。	62	10 ~ 29
12	13~14	民間依頼の仕事でタイヤショベルが必要になり、他社から借りるために車に乗って取りに行った。タイヤショベルを借り、それに乗り林道を運転していたとき、バックしようとして後輪が滑り、谷側にタイヤショベルごと転落した（高さ1.5m位、半回転して横転）。なお、ヘルメットとシートベルトは着用していた。	44	1~ 9
12	15~16	積み上げたブロックの上で、新たにクレーンで吊り上げたブロックを積み上げるため、二人組でブロックの向きを整えていたとき、バランスを崩して転落した。	69	1~ 9
12	15~16	2tダンプの荷台上でモルタルを練っていた際、前方から後方へ移動しようとしたときに足を滑らせ転落した。その際、既存のブロック塀に左肩を強打し、体をかば	70	30 ~

		おうとして地面に左手をついたとき、左手首を骨折した。		49
12	13~14	職場敷地内で樹木の剪定作業中、脚立から転倒し、着地のときに右手をついて受け身をし、手首を骨折した。	45	10 ~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)